

第1章 事業の概要

1-1 全体概要

(1) 目的

本事業は、森林・山村多面的機能発揮対策の取組に関して、各都道府県に設置された地域協議会の運営状況及び活動組織が実施した森林・山村の多面的機能の維持・向上のための活動内容やその効果等について調査・分析を行うことにより、対策の内容や支援の在り方を評価検証するとともに、活動事例集の作成、活動事例の発表会及び協議会の情報交換会等を開催し対策を推進する。

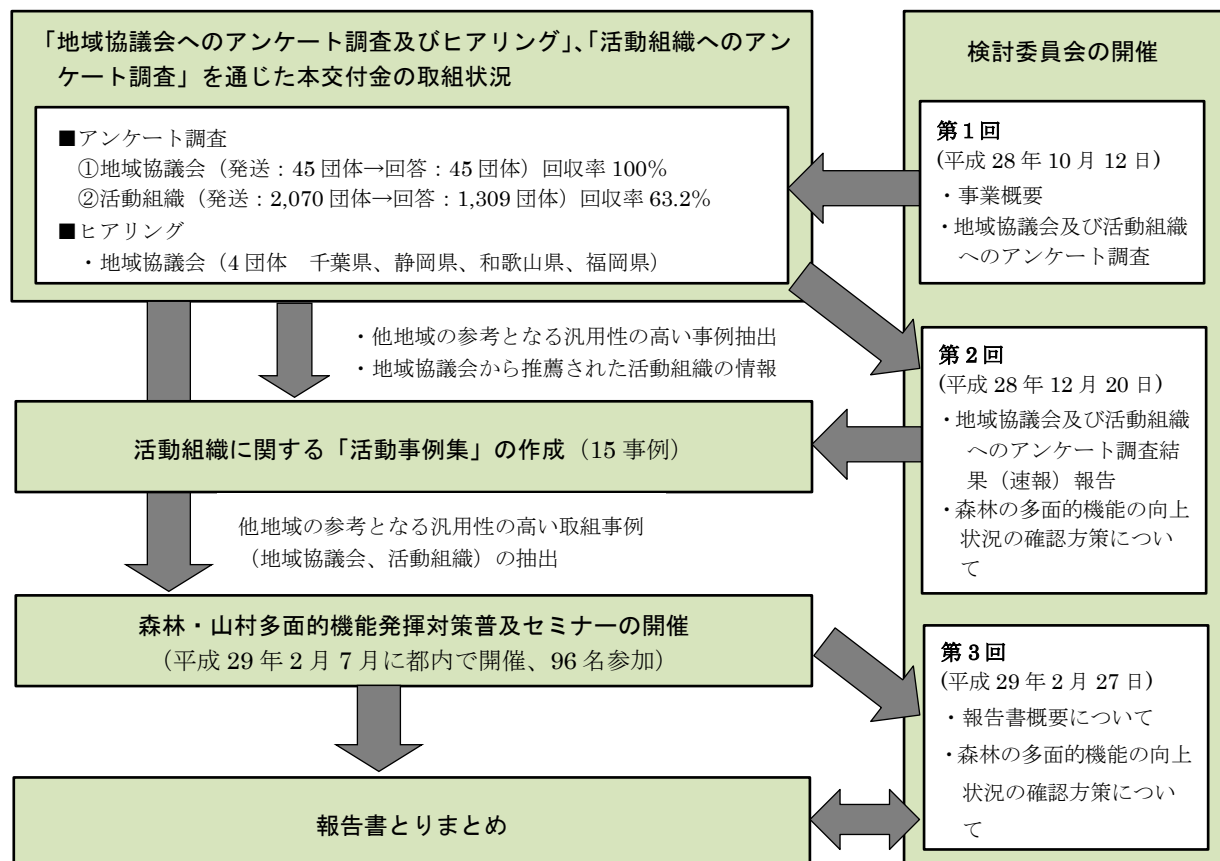
(2) 履行期間

平成28年8月5日から平成29年3月17日まで

(3) 事業の進行

森林・山村多面的機能発揮対策に係る地域協議会及び活動組織の取組状況や課題等を、アンケート調査やヒアリング等を通じて把握するとともに、本対策において今後求められる活動の効果についての調査や確認方策の検討を行った。

本事業における実施項目と作業フローを以下に示す。



1-2 各実施項目の概要

本事業において実施した内容について、以下に項目別に示す。

(1) 地域協議会へのアンケート調査及びヒアリング

地域協議会における取組状況や課題等を把握するため、全 45 地域協議会を対象にしたアンケート調査を実施し、その結果を受けて、より具体的な取組状況等を確認するための補足的なヒアリングを 4 地域協議会に実施し、その内容を整理・分析した。

① アンケート調査の概要

45 地域協議会を対象に書面によるアンケートを実施した。

項目	内容
目的	森林・山村多面的機能発揮対策における地域協議会の取組状況や課題等の把握
対象	全国の地域協議会（全 45 団体）
調査期間	平成 28 年 11 月 10 日（木）～24 日（木）
設問数	28 問
調査方法	協議会には、郵送とともに E-mail で書式を送信 アンケートダウンロード用の特設 web サイトを作成し、E-Mail にて、ダウンロード用ページを告知
回収率	100%（45 団体全てが提出）

関連する記述

結果概要 → 第 2 章

アンケート調査票、集計結果 → 資料編 資料 1、資料 2

②ヒアリングの概要

アンケート調査の結果を踏まえて、取組状況や課題をより具体的に把握するための補足的なヒアリングを4地域協議会に対して実施した。

項目	内容
目的	地域協議会の取組状況のより具体的な把握
対象	4 地域協議会 ・ 千葉県里山保全整備推進地域協議会 ・ (公社) 法人静岡県緑化推進協会 ・ 木の国協議会 ・ 福岡県森林組合連合会
実施期間	平成 29 年 1 月 19 日 (木) ～2 月 1 日 (水)
実施方法	現地にて対面式で実施

関連する記述

結果概要 → 第 2 章

ヒアリング要旨 → 資料編 資料 3

(2) 活動組織へのアンケート調査の概要

平成 27 年度に交付金の交付を受けた活動組織及び、平成 28 年度に活動を実施予定の活動組織すべて（計 2,070 団体）を対象に、交付金で実施した活動の内容やその効果等を把握するためのアンケート調査を実施した。

項目	内容
目的	森林・山村多面的機能発揮対策交付金で実施した活動内容及び活動の効果の把握
対象	平成 27 年度に活動を実施した活動組織及び平成 28 年度に活動を実施予定の年度に活動を実施予定の組織すべて (計 2,070 団体、全団体に発送)
調査期間	平成 28 年 11 月 10 日（木）～24 日（木）
設問数	24 問 ※この他、活動組織より、交付金による成果で「自慢できること」を自由記述方式でご回答いただいた。
調査方法	郵送を基本とし、希望する活動組織には E-mail で書式を送信 アンケートダウンロード用の特設 web サイトを作成し、希望者がダウンロードできるようにした。 特設 web サイトのアドレスは、郵送の調査票に記載するとともに、問い合わせがあった際には、該当のアドレス月のメールを送るように配慮した。
回収率	63.2%（回答 1,309 団体）

関連する記述

結果概要 → 第 3 章

アンケート調査票、集計結果 → 資料編 資料 4、資料 5

(3) 活動事例集の作成

他地域の活動組織の参考となる活動を実施している活動組織 15 団体を活動事例集の掲載候補として選定した。

活動事例集の掲載候補は、過去の活動事例集に掲載のない県より 11 団体分、平成 27 年度におけるアンケート調査や文献情報等により抽出した。うち、1 団体からは活動事例集への掲載について辞退があったため、平成 28 年度アンケート調査に基づき、追加で 1 団体を選出した。

また、過去に活動事例集への掲載のあった都道府県より、4 団体を抽出し、追加で活動事例集の追加候補とした。追加候補の選定にあたっては、その活動内容の先進性ととともに、地域性、地域協議会や検討委員よりの推薦、平成 28 年度アンケートの回答内容等を考慮した。

さらに、上記の 15 団体に加え、日本全国の活動組織に、本交付金による成果で自慢できることを募集し、42 団体を抽出した。

活動事例集本編（15 団体）

項目	内容
目的	汎用性があり、他地域のモデルとなる取組情報の発信を通じた、情報及びノウハウの共有
対象	全国の活動組織より 15 団体を抽出
調査期間	平成 28 年 11 月 10 日（木）～平成 29 年 1 月 30 日（月）
調査方法	現地にて対面式で聞き取りを実施

「自慢できること」(35 団体)

項目	内容
目的	活動組織が、本交付金事業により実現できたことや得られた効果など、「自慢できる」と考えることを紹介してもらい、活動が全国に普及していることと、この交付金により何が実現可能であるかを広く発信する
対象	各都道府県 1 団体を抽出 ※今年度は、過去に活動事例集に掲載のある活動組織および今年度の活動事例集掲載団体は除外した ※一部、「自慢できること」に回答した活動組織のない県も存在したため、42 都道府県より候補を選出し、原稿依頼を送付したところ、35 団体より回答が寄せられた。
調査方法	平成 28 年度アンケートにおいて、「自慢できること」を尋ねる質問用紙を配布。白紙解答や「自慢できないことがない」旨の回答を除くと、408 件分の「自慢できること」についての回答が寄せられた。 そのうち、活動事例集への掲載を承諾した活動組織を対象に、各都道府県 1 団体を抽出した。

事例集として活動状況を整理した 15 活動組織（都道府県順）

番号	所在地		団体名	平成28年度活動タイプ				
	都道府県	市区町村		里山	竹林	資源	機能	教育
1	北海道	七飯町	大沼流山森づくりネットワーク	●		●		●
2	青森県	青森市	白神山地を守る会			●		
3	山形県	白鷹町	しらたか森づくりの会	●				
4	福島県	西郷村	白河高原薪の会	●				
5	新潟県	阿賀町	お山の森の木の学校	●		●		●
6	山梨県	北杜市	NPO法人 自然とオオムラサキに親しむ会	●				●
7	静岡県	掛川市	時の寿の森クラブ			●		●
8	奈良県	奈良市	NPO法人森づくり奈良クラブ		●			
9	島根県	津和野町	高田里山を守る会	●	●	●	●	●
10	山口県	下関市	ふくの森の会	●		●	●	●
11	香川県	東かがわ市	東かがわ市北山森林ボランティア会	●	●			●
12	佐賀県	神埼市	特定非営利活動法人森をつくろう活動組織		●			
13	長崎県	五島市	玉之浦椿の森保全会	●				
14	大分県	大分市	NPO法人 いきいき安心おおいた	●	●			
15	沖縄県	那覇市	首里城古事の森育成協議会	●				●

▼全国「自慢できること」掲載団体

番号	都道府県	団体名
1	北海道	札幌森友会
2	宮城県	若草山みどりの会
3	秋田県	白神里山クラブ
4	山形県	やまがた整森の会
5	福島県	やまもり会@霊山
6	茨城県	ふれあい筑波
7	栃木県	西宮町自治会
8	群馬県	ぐんま山森自然楽校
9	千葉県	おとずれ山の会
10	東京都	NPO 法人フジの森
11	神奈川県	沼間四丁目上の谷戸森林管理協議会
12	新潟県	チーム木念人
13	富山県	NPO 法人大長谷村づくり協議会
14	石川県	白山瀬波の会
15	福井県	下久米田里山保全会
16	山梨県	西山扇山部分林管理委員会
17	岐阜県	イワクラ里山倶楽部
18	静岡県	谷津山再生協議会
19	愛知県	鳳来峡の森を明るくする会
20	滋賀県	やす緑のひろば
21	京都府	特定非営利活動法人 加茂女
22	大阪府	NPO クワガタ探検隊
23	兵庫県	特定非営利活動法人野生生物を調査研究する会
24	和歌山県	熊野森林学習推進協会
25	島根県	竹取のかぐや
26	広島県	野登呂山森保全の会
27	山口県	住みよい長穂をつくる協議会
28	徳島県	西井川林業クラブ
29	香川県	羽床里山クラブ
30	愛媛県	神子之森里山保全活動組織

番号	都道府県	団体名
31	福岡県	鬼ヶ城竹林整備活動組織
32	熊本県	島木竹林・里山保全の会
33	大分県	入蔵里山づくり
34	宮崎県	西郷区木質バイオマス等研究会
35	鹿児島県	麦生集落前嶽森林活用グループ

関連する記述

活動事例集 → 第4章

(4) 森林・山村多面的機能発揮対策普及セミナーの開催

地域協議会及び活動組織へのアンケート調査、ヒアリング等の結果を踏まえて、他地域の活動の参考となる取組を行っている地域協議会と活動組織を抽出し、その成果を関係者で共有することを目的としたセミナーを下記内容で開催した。

項目	内容
目的	他地域の地域協議会、活動組織の参考となる汎用性の高い取組や、課題解決の方策等の共有
対象	地域協議会、都道府県の交付金担当者など
開催日時	平成 29 年 2 月 7 日（火）10:00～15:00
会場	日本橋社会教育会館 8 階ホール（東京都中央区）
プログラム	<p>10:00～10:05 開会挨拶</p> <p>10:05～10:55 基調講演 『愉しくてためになる市民参加型調査「森の健康診断」の 10 年』 豊田市矢作川研究所 主任研究員 洲崎燈子</p> <p>10:55～11:05 休憩</p> <p>11:05～12:30 活動組織による活動事例報告（3 団体） 11:05～11:30 しらたか森づくりの会（山形県） 11:30～11:55 NPO 法人 自然とオオムラサキに親しむ会（山梨県） 11:55～12:20 NPO 法人 時ノ寿の森クラブ（静岡県） 12:20～12:30 全体質疑</p> <p>12:30～13:30 昼休み</p> <p>13:30～15:00 パネルディスカッション コーディネーター：山本 信次（岩手大学 農学部 准教授） パネラー：丹羽 健司 （特定非営利活動法人地域再生機構 木の駅アドバイザー） 伊藤 道男（千葉県里山保全整備推進地域協議会 事務局長） 小島 信継（（公社）京都モデルフォレスト協会 次長） 岡田 恵美（木の国協議会 事務局長） 木下 仁 （林野庁森林整備部森林利用課山村振興・緑化推進室 室長）</p> <p>15:00 閉会</p> <p style="text-align: right;">（敬称略）</p>

参加者	<p>96 名</p> <p>都道府県担当者 : 32 名</p> <p>地域協議会担当者 : 41 名</p> <p>活動組織 : 5 名</p> <p>検討委員・基調講演 : 3 名</p> <p>その他 : 15 名（スタッフ含む）</p>
-----	---

関連する記述	<p>結果概要 → 第 5 章</p> <p>配布資料 → 資料編 資料 6</p>
--------	--

(5) 検討委員会の開催

森林・山村多面的機能発揮対策の取組状況等について、専門的な見地から検討を行い、今後の展開等についての論点の整理や提言を行うことを目的に、有識者 4 名で構成する「平成 28 年度森林・山村多面的機能発揮対策評価検証事業 検討委員会」を設置し、3 回の委員会を開催した。検討委員会の委員構成及び各回の開催概要を以下に示す。

森林・山村多面的機能発揮対策評価検証事業 検討委員会 委員一覧

氏名（敬称略）	所属・役職	備考
山本 信次	岩手大学農学部 准教授	委員長
関 仁	阿賀町役場 農林商工課 課長	委員
丹羽 健司	特定非営利活動法人地域再生機構 木の駅アドバイザー	
森本 淳子	北海道大学 農学研究院 准教授	

〔事務局〕 林野庁 森林整備部 森林利用課

検討委員会の開催状況

回数	開催日時	会場	主な検討議題
第 1 回	平成 28 年 10 月 12 日(水) 14:00－16:00	日本橋プラザ 第 2 会議室	①事業概要 ②地域協議会及び活動組織へのアンケート調査について ③森林の多面的機能の向上状況の確認方策について ④活動事例集の対象候補について
第 2 回	平成 28 年 12 月 20 日(火) 13:30－15:30	東京国際フォーラム G503 会議室	①地域協議会及び活動組織へのアンケート調査結果（速報）報告 ②森林の多面的機能の向上状況の確認方策に関する目標について
第 3 回	平成 29 年 2 月 27 日(月) 13:30－15:30	東京国際フォーラム G501 会議室	①報告書概要について ②森林の多面的機能の向上状況の確認方策について

関連する記述

検討経過 → 第 6 章

議事要旨 → 資料編 資料 7